

2024年9月11日

&SPACE PROJECT  
南海電気鉄道株式会社

## 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に常設予定の アップサイクル家具『宇宙タンクベンチ』を9/14（土）より なんばガリレアコート（旧ロケット広場）にて展示スタート

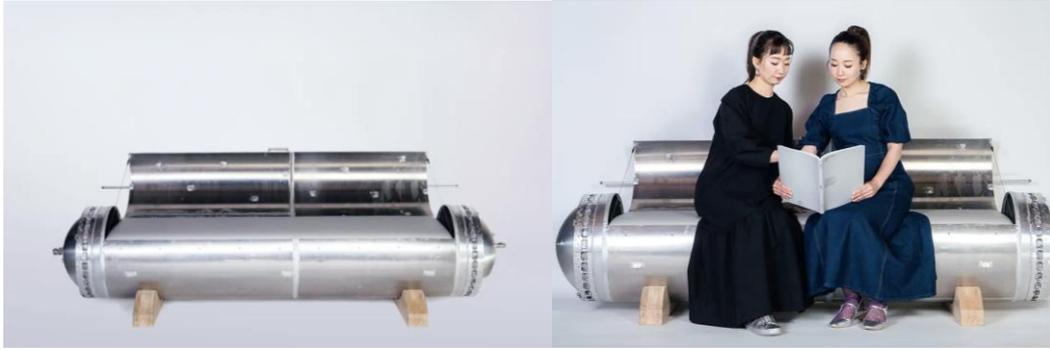
～宇宙ロケット廃材を活用した「宇宙家具」と「ロケット広場」の歴史を振り返る～



宇宙ロケットの開発廃材を活用し、新しいプロダクトを生み出すアップサイクルプロジェクト「&SPACE PROJECT」は、南海電気鉄道株式会社（代表取締役社長：岡嶋信行）の協力を得て、2024年9月14日（土）から9月27日（金）まで、かつてロケット広場と呼ばれた、なんばCITY地下1Fガリレアコートにて「宇宙タンクベンチ」を展示します。さらに「ロケット広場」の歴史を振り返るパネルも展示します。

### 宇宙タンクベンチについて

「宇宙タンクベンチ」は民間宇宙ロケットの開発に用いられた試験用燃料タンクをリメイクして開発したアップサイクル家具です。燃料であるエタノールと液体酸素が搭載されるタンクはアルミの板を丸めて、両側に半円状のドームを溶接して作られます。外装との結合部は細かな板を柵状に溶接して強度と軽さを保っています。素材は極低温の燃料に耐えられ、強い強度と軽さを併せ持つアルミ合金です。



## ■使用している廃材

|  |                                |
|--|--------------------------------|
|  | <p>■部材名<br/>ロケット燃料タンク（試作品）</p> |
|--|--------------------------------|

## 宇宙タンクベンチは大阪・関西万博の会場にも展示予定

「Co-Design Challenge」プログラムは、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマにした大阪・関西万博に向けて、2025年日本国際博覧会協会が実施する「大阪・関西万博を契機に、これからの日本の暮らし（まち）をつくる」をコンセプトとした新しい共創事業です。万博会場内フューチャーライフエクスペリエンス、「TEAM EXPO パビリオン」で使用する物品の協賛提供のほか、物品に関連した製造現場の見学を含むものづくり体験企画を企画・実施も後押しする取り組みです。

宇宙タンクベンチは「Co-Design Challenge」プログラムのコンセプトと合致し採択されました。今後、仕様やデザインのアップデートを経て、2025年に開催する大阪・関西万博の開催期間中、会場に常設される予定です。

## &SPACE PROJECT について

「&SPACE PROJECT」は宇宙ロケットの開発廃材を活用し、新しいプロダクトを生み出すアップサイクルプロジェクトです。宇宙産業が活発な北海道を舞台に、道内のものづくり企業や道内外のクリエイターが力をあわせ、宇宙をもっと身近に感じられるプロダクトを開

発。この取り組みを通して、宇宙ビジネスが盛り上がる現代における、新しい産業の創出を目指します。



Web サイト : <https://and-space-project.jp/>

## かつてロケット広場と呼ばれた場所にロケットが復活！？

「宇宙タンクベンチ」の展示が行われるガレリアコート（なんば CITY 地下 1F）には、1978 年 11 月のなんば CITY オープンから 29 年間、高さ 33m・重さ 18t のロケットが立っていました。この場所は「ロケット広場」として、大阪ミナミの代表的な待ち合わせ場所として親しまれていました。2007 年 5 月に発表された「なんばターミナルの再生計画」により、2007 年 8 月にロケットは撤去され、この空間は一時的に「ウェルカムロビー（仮称）」と呼ばれていましたが、2009 年 10 月に正式に「なんばガレリア」と名付けられました。

